

本の情報	内容
<p>『ぱっぴぷっぺぽん』</p> <p>もろかおり え うしろよしあき ぶん ポプラ社 2014.8</p> <p>1110895570</p>	<p>ぱっ ぴっ ぷっ ペっ ぽ～ん！ 箱の中から女の子がたくさん色の玉といっしょに出てきたよ。女の子のごうれいで、へんしんごっこに出発だ。さいしょはいもむし、つぎはうま。自動車にのってお山のとっぺんまでやってきたら、おおかぜに吹きとばされちゃった。いったいどうなっちゃうの？「ぱっぴぷっぺ」の音のひびきが楽しい絵本です。</p>
<p>『ユキコちゃんのしかえし』</p> <p>星新一 作 ひがし ちから 絵 偕成社 2014.9</p> <p>1110915163</p>	<p>おとなりの博士が作った不思議なクスリ。ユキコちゃんは、いじめっこを「恐れ入らせてしまうクスリ」だと思って自分にふりかけます。いじめっこたちはたしかにユキコちゃんを見ると青くなり逃げ出しました。ところが大喜びで家に帰ってきたユキコちゃんが後ろをふり向くとびっくり！実はこのクスリには別のきき目があったのです。 星新一の短編が絵本になって登場です。</p>
<p>『イーラちゃんはおうさま』</p> <p>しまだともみ 作 偕成社 2014.11</p> <p>1110938210</p>	<p>イーラちゃんはママから「かたづけないと、おやつぬき」ってしかられました。でもイーラちゃんがかたづけるところか、「おうさまだったら何にもしなくていいから おうさまになっちゃおう！」と思いました。さっそくベッドカバーとシーツでおしろをつくり、自分はおうさまのかっこうをしておしろの中に入ると…何と中では家来たちがおうさまのイーラちゃんを待っていたのです。</p>
<p>『ハナさんのあかいぬの』</p> <p>なとりちづ さく 福音館書店 2014.4</p> <p>1110897074</p>	<p>ハナさんはふたのおかあさん。寒くなったので、大きな赤いぬので子ぶたたちのふとんを作ろうと思いました。ところが子ぶたたちの服がきつきつになっていることに気がついたハナさんは、ふとんづくりを後まわしにして、子ぶたたちのてぶくろや帽子、ズボンにコートを作ります。穴だらけになった赤いぬの、でもハナさんはとてもすてきなふとんを作ります。どんなふとんができたかは読んでからのおたのしみ。</p>
<p>『あかくんとあおくん』</p> <p>ガブリエル・ゲ さく ふしみみさを やく 岩崎書店 2014.9</p> <p>1110912546</p>	<p>信号のあかくんとあおくんは、いつも一緒に仕事をしています。でもある晩二人はとっくみあいのけんかを始めてしまいました。めちゃくちゃに動き出した信号機に車がつっこみ、あおくんは道に放り出され、走ってきた車にひかれてしまいます。あかくんは信号機から飛び出し、あおくんを助けますが、けんかの間にまちは車があふれかえり大変なさわぎに…。仲直りした二人は一緒に交通整理を始めました。</p>
<p>『はじまりのはな』</p> <p>マイケル・J・ローゼン 文 ソーニャ・ダノウスキ 絵 蜂飼耳 訳 くもん出版 2014.9</p> <p>1110923325</p>	<p>わたり鳥のローザは、自分のほっぺと同じバラ色をした花を「ほっぺのはな」と呼んで気に入っていました。仲間の鳥たちと一緒に南へ渡ろうとしたときに、ローザはその花と種を持って旅立とうとしましたが、上手く飛ばず川に落ちてしまいます。運よく犬のミールがローザを助け、自分の飼い主のアンナの家まで運んでいきました。ひと冬をアンナの家で暮らしたローザですが、やがて別れの春がやって来ます。</p>